**特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」**

**ソフトボール競技実施要領**

１　競技規則

令和５（２０２３）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか，この要領の定めるところによる。

２　チーム

⑴　チームの構成は，監督１名，コーチ２名以内及び登録選手１５名以内（男女は問わない）とする。

⑵　監督及びコーチが選手を兼ねる場合は，選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は，選手を兼ねる監督及びコーチを含め１５名以内とする。

３　競技方法

⑴　全ての試合は５回までとし，トーナメント方式で行い，３位決定戦を実施する。また，トーナメント戦以外に交流戦を実施する。

⑵　１回戦及び準決勝は，試合開始後６０分を経過した後は，新しいイニングに入らない。

⑶　同点の場合は，タイブレークにより試合を延長して行う。ただし，延長は２回を限度とし，それでも同点の場合は，最終出場選手（ＤＰ制を採用した場合はＦＰ選手を除く。）９名の抽選によって勝敗を決する。ただし，決勝戦の延長は勝敗が決するまで行う。

⑷　３回終了以降１０点以上の差が生じたときは，得点差コールドゲームとする。

また，降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断された場合は，３回以上の回の終了をもってコールドゲームとする。（決勝戦，３位決定戦を含む。）

⑸　ファーストピッチにより行う。

⑹　投球距離は，１３．１１ｍとする。

⑺　パスボール，振り逃げ，スクイズバントは適用しない。

⑻　盗塁が行われた時，該当する走者はアウトとする。

ア　ピッチャーが投球したボールが，ホームベースを通過した時点でボールデッドとし，盗塁，キャッチャーからの牽制，暴投による進塁など，その後のプレーは成立しない。

イ　ランナーが帰塁を故意に遅らせた場合は，審判団から厳重に注意をし，再度繰り返す場合は，審判団の判断で遅延行為によりランナーをアウトとする。

⑼　指名選手（ＤＰ）制，再出場（リエントリー）制を採用する。

４　服装等

⑴　同一チームの監督，コーチ及び選手は，同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。また，男子は同じ帽子を着用しなければならない。

⑵　ユニフォームナンバーは，背中と胸下に付けなければならない。監督は３０番，コーチは３１・３２番，主将は１０番とし，他の選手は１番から９９番までの番号とする。また，ユニフォームの左袖（左肩から１０㎝程度）に都道府県・指定都市名を表示すること。

⑶　打者，打者走者，走者，次打者席内にいる次打者及び１・３塁のベースコーチは，両耳あてのある同色のヘルメットを着用する。また，捕手は，スロートガード付きマスク・捕手用ヘルメット，ボディプロテクター及び膝当て付きレガースを着用する。

⑷　金属製のスパイクは禁止する。

５　試合球

試合球は公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製３号球とし，主催者が用意する。

６　組合せ

組合せは，令和５（２０２３）年７～８月に開催するプログラム編成会議において，主催者が関係者立会いの下に代理抽選の上，決定する。

７　打順表等

⑴　打順表は，試合開始時刻３０分前までに５部作成し，各球場の競技本部へ提出する。ただし，第１試合は開始式終了後に提出すること。

なお，打順表は監督会議において競技本部から配布する。

⑵　攻守順の決定は，打順表提出の時に審判員立会いの下「コイントス」によって決定する。

８　開始式・表彰式

⑴　開始式は，競技開始前に競技会場で行う。

⑵　表彰式は，競技終了後に競技会場で行う。

※　新型コロナウイルス感染拡大防止のため，実施の有無及び実施方法を変更することがある。

９　その他

⑴　令和５（２０２３）年１０月２７日（金）に監督会議を行う。なお，監督会議の時間及び場所については別途通知する。

⑵　ベンチは，組合せ表の番号が若いチームを１塁側とする。

⑶　ベンチ内へは，監督，コーチ，選手以外は入場することができない。ただし，チームスタッフ３名とは別にトレーナー１名を帯同しているチームは，１名ベンチに入ることができる。なお，トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは，実際に施術ができる者とし，公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。

⑷　練習場所については，主催者からの指示に従うものとする。

⑸　練習球は，各チームが用意する。

⑹　荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは，主催者において別途決定する。